

## 補正予算から太閤堤債務負担を削除する修正案 提案理由説明

2017年6月30日

山崎 匡

修正案第2号「議案第45号平成29年度宇治市一般会計補正予算（第2号）に対する修正案」について提案理由の説明を行います。

本修正案は補正予算第2号の第2条及び第2条第2表「仮称宇治川太閤堤跡歴史公園PFI導入支援業務委託事業770万円、仮称宇治川太閤堤跡歴史公園整備運営事業25億4千万円」を削除するものです。

太閤堤跡歴史公園整備事業のPFIに関する債務負担行為は、過去2度、平成27年9月定例会及び、平成28年3月定例会で削除されました。

今回の債務負担行為は、歴史公園内の地域観光交流センターへの宇治公民館・市民会館の「機能移転」を取りやめ、規模を縮小する事業見直しを行うとして再々提案されました。

しかし、4月20日建設水道常務委員会資料10P「歴史公園の15.5年間の収支まとめ」によると、用地費・工事費などの建設費は、従前の計画では72.6億円が、見直し後の計画では69.4億円となり、運営費のうち維持管理費は、従前の計画では18.8億円が、見直し後の計画では18.6億円と規模縮小により3.4億円の削減こそあるものの、運営費のうちの収入が、従前の計画で19.6億円であったものが、見直し後の計画では14.8億円と4.8億円の減少となり、建設費と維持管理費を合わせた額から収入を差し引いた収支は、従前の計画71.8億円が、見直し後の計画では73.2億円と増加しています。加えて、運営費について、維持管理費から収入を差し引くと、従前の計画では8千万円の黒字であったものが、見直し後の計画では3.8億円の赤字に転じ、年2400万円強が市の実質負担となるとされています。さらに、事業をPFIで20年間民間事業者任せ実施する考えは当初からまったく変わっていません。議会の意見を聞いて観光に特化するとして計画を見直しましたが、規模縮小で事業費削減になるどころか収支のまとめにでは事業費は増加し、市の実質負担が増え、見直しが見直しになっておりません。

この間の議会における審議においても、説明や資料が二転三転しています。同債務負担行為については、市民の理解が得られないことが明白なため、修正削除するものです。

よろしく御審査いただき、修正について御可決いただきますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。